

代表的な協働・共創事例

北信地域振興局

事業名

北信州おいしい食材フェア2025
～デジタルスタンプラリー～【7年度地域振興推進費】

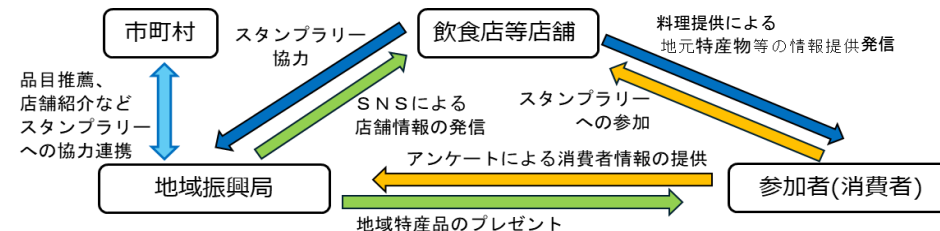
目的

きのこやアスパラガス、伝統野菜など北信地域の特産の農産物や農産加工品について、地元の飲食店等と連携してスタンプラリーによる県民等消費者の認知度を高めるとともに需要の拡大を進め、生産量の増大など生産の体質強化を図る

連携相手

◆北信地域の飲食店(40店)、道の駅(5店)、菓子店(4店)、惣菜店(2店)

座組



実績

項目	実績
参加店舗数	51店舗
参加登録数	1,159名
スタンプ数	1,383個
ブログ・SNS発信	50回



応募者の中から抽選で、管内6市町村から選抜された自慢の特産品をプレゼント！

提供された料理の一例



サバタケ汁



笹ずし

結果

- ・ 51店舗の飲食店等の協力が得られ、地域振興局のブログやSNSで全店舗の情報を発信し、win-winの関係性を構築
- ・ 多くの店舗が積極的に取組をご周知いただき、地元特産物等の認知度向上に繋がった

参加者の分析…県内の方が7割、関東と北陸の方が1割で県内・近隣県の参加が多かった！男女比は女性が6割 年代別では40～50代が5割

▶市町村との連携強化と管内店舗への認知度の広がりによる更なる協力体制を構築し、令和8年度は長野県150周年記念事業の一環としてさらに盛り上げて取り組んでいきたい！